

【研究タイトル】大腸癌に対する術前補助化学療法の検討

【目的】

大腸癌の根治療法の原則は、手術による病巣の完全切除とされており、その後、術後補助化学療法を行うことが標準的です。しかし、化学療法の発達により、術前の化学療法を行う事のメリットが他癌腫などで示されており、結腸癌においても、切除不能症例や境界切除可能症例に対する術前化学療法が実施されてきています。当院において術前化学療法を行った患者さんについて、短期治療成績、長期治療成績に対して検討する事が目的です。

【対象】

当院で2011年1月から2019年12月の9年間に手術を施行された大腸癌の方でこの研究にご協力頂ける患者さんです。

【方法】

現在、診療録として当院に保存してある個人情報を匿名化して研究に利用いたします。

【個人情報の使用について】

本研究で得られた個人情報が外部に洩れる事の無いように厳重に管理し、データを利用する場合は完全に匿名化して用いるものとします。

患者さんやご家族が本研究への参加を希望されず、情報の利用又は提供を希望されない場合は下記の問い合わせ先にご連絡ください。研究にご協力いただけない場合でも特に患者さんが不利益を受けることはありません。

問い合わせ連絡先

災害医療センター

〒190-0014 東京都立川市緑町 3256 番地

所属・担当者名：消化器乳腺外科 寺西 宣央

電話番号：042-526-5511 【受付時間】9:00-17:00(土日祝除く)